

# 木質バイオマスに理解

## 秋田市民、加工所など見学

再生可能エネルギーの一つ「木質バイオマス」について学ぶ施設見学会が9日、秋田市などで開かれた。市民10人が参加し、木質チップをエネルギー源とする木質バイオマス発電に理解を深めた。同市の主催。

参加者は大仙市協和船沢の木質チップ加工施設を見学し

定して供給することができると述べた。このほか、県内の木材生産の現状や、林業の現場で使用する重機についても説明した。

施設の木材置き場には間伐材約8千トが積み上げられており、1日約60トの木質チップを加工しているという。参加者は「思ったよりたくさんある」と話しながら間伐材を眺めたり、粉碎機で木質チップに加工する様子に見入ったりしていた。

このほか、秋田市向浜のユナイテッドリニューアブルエナジーの木質バイオマス発電所も見学した。

同市仁井田の山崎虎之介君(10)は「いろいろな木材で発電するのは、環境に優しいと思っ

た。粉碎機があ



木材置き場に積まれた間伐材を眺める参加者

つという間に木材をチップにしているびっくりした」と話した。(石塚佳治)